行動計量学会報

日本行動計量学会事務局
東京都港区南麻布４－６－７
統計数理研究所 村上研究室

春の合宿セミナーについて

岡田 彬訓

日本行動計量学会では，昨年度から３月末に「春の合宿セミナー」を開催している。

第１回にあたる昨年は，繁桝算男先生の企画・運営のもとに，千葉県検見川にある東京大学の施設を利用させていただき実施したが，初回にもかかわらず約100名もの方が参加して下さった。また，今年の３月に狩野裕先生の企画・運営により，大阪大学人間科学部において実施した第２回は，第１回の２倍に当たる200名を超える参加者があり，来年の第３回には学会大会にも匹敵する規模になりかねない勢いである。参加者の多さだけでなく，（実際に参加された方々はよくご存じであり，私がここで述べるまでもないと思うが），春の合宿セミナーにおける活気には目を見張るものがある。

この活気と勢いは，企画と運営にあたられた繁桝先生と狩野先生，また，運営をお手伝いいただいた助手や大学院生の皆さん，さらに，講師を務めて下さった先生方（講師の方の交通費と宿泊費は原則として自弁です）の献身的かつ超人的な努力の賜であることはいうまでもない。

そしてもう一つ忘れてならないのは，この企画のコンセプトがニーズにぴったり合っているということである。春の合宿セミナーは，いくつかの研究室の合同合宿をもとに発展したため，大学院の学生や助手，講師など年齢層の若い参加者が多い。その基本的なコンセプトは明快で，「若手の研究者を育てる」，すなわち，計量的な手法を利用したい若手の研究者に対し，手法を専門とする研究者が手法を分かりやすく解説することにより，若手研究者育成の一助となる，ということである。また，第２回の合宿セミナーの予稿集に狩野先生が書いておられたように，楽しい雰囲気で愉快にセミナーを進行させ，厳しいが，楽しく・愉快に研究をするということも，運営上気を配ってきた大きな点である。実際，春の合宿セミナーは参加者の年齢層が比較的若く，このセミナーへの参加を機に学会へ入会された方々も数多く上っている。そのためか，大会の雰囲気も，この１，２年で随分と若々しくなったのではないかと思う。

本学会の特徴は，さまざまな分野の研究者が集まっていることである。異分野の人間が集まると，とかく自分自身の専門の，つまり慣れ親しんだ考え方や慣習だけがよく，それ以外の分野の考え方や慣習が気に入らないということが起こりがちである。その結果，各自が真剣に努力すればするほど遠心力を生み出し，全ての人にとってマイナスになってしまいかねないということは，ご周知のとおりであろう。遠心力でなく，求心力を生み出すような方向を合宿セミナーが与えてくれるよう，切に願っている次第である。

次回，第３回の合宿セミナーは，来年３月末に名古屋で開催の予定である。はじめにも申し上げたように，春の合宿セミナーのコンセプトは「若手の研究者を育てる」ということであるが，もちろん年齢制限などはあるはずもなく，年齢にかかわらず，第１回と第２回にもまして多数の方々のご参加を心待ちにしております。

（おかだ あきのり，立教大学社会学部，行動計量学会理事）

平成11年度第2回理事会報告

日 時:平成11年7月12日 PM6:00～8:00
場 所:大学入試センター
出席者:池田 央, 市川伸一, 岩崎 学, 岡太彬訓, 久保武士, 繁桝算男, 垂水共之, 林 文, 前川眞一, 村上征勝, 柳井晴夫, 柳原良造, 山岡和枝
議題:

1. 平成10年度決算案及び平成11年度予算案について
   事務局より平成10年度決算案及び平成11年度予算案について説明があり了承された。
2. 第27回大会について
   垂水大会実行委員長より, 第27回大会の準備状況について, 現在のところ申込数は, 特別講演2件, 特別セッション9件, 一般講演60件で, 総会は2日目(21日)の午後1時～2時に開催するとの報告があった。
3. 第28回大会について
   柳井理事長より第28回大会は東京大学で開催する案が提案され了承された。大会実行委員長となる繁桝理事より, 大会実行開催日としては, 次の2案が考えられる旨説明があった。
   ①9月29, 30, 10月1日
   ②10月6, 7, 8日
4. 学会賞について
   繁桝学会賞選考委員会委員長より選考委員会から3名を推薦する提案があり了承された。
5. 名誉会員の推薦について
   本年は該当者なしとの報告が岩坪名誉会員担当理事に代り柳井委員長より報告があり了承された。
6. 各種委員会報告
   - 久保和文誌編集委員長より26巻1号の編集状況(現在印刷中で校正の後 7 月中に出版予定), 及び 26 巻 2 号の編集状況(特集「POS データの解析」は 9 月出版予定)について報告があった。
   - 繁桝欧文誌編集委員長より vol.26,No.2 の編集状況(現在採択数5編であと1編を追加し, 7月中に入稿予定), Vol.27,No1の編集状況(著者校正中2, レフリー中8編)について報告があった。
   - 池田編集委員長より著作権に関する学会規定(案)について説明があり, 一部修正した案を総会に提案することなった。総会で承認された場合は学会誌の投稿規定の後に, 著作権規定を掲載することとなった。
   - 岡太運営委員会委員長より, 行動計量シンポジウム(第67回を5月22日に開催 参加者数42名), 講習会(7月16日セミナー開催, 第27回大会前日にチュートリアルセミナー開催予定, 2000年3月29日～31日合宿セミナー開催予定)について説明があった。また小グループ活動3件に助成することとなったとの報告があった。
7. その他
   - 行動計量学会が日本心理諸学会連合に加入すること, また年会費 2 万円を行動計量学会が支払うことが了承された。
   - 国際計量心理学会組織委員会から, 2001 年に大阪で開催する International meeting of the Psychometric Society を行動計量学会に後援して欲しい旨の申し入れがあり, 了承された。

平成 10 年度日本行動計量学会「小グループ」研究会活動記録

1. 食行動調査研究会

代表者:小林敬子(日本女子体育大学)

問題行動が多く指摘されるようになった最近の若者の行動について, 質問紙調査によって, 若者の生活部分を食生活習慣から明らかにする事を目的とした研究である。偏食, 主食・主菜等の摂取状況, 食べ方・量, 孤食の様子等の細かい食習慣に至るまでの調査をも含めた生活意識調査を行った。「食」から派生する事, 例えば過去に主に調理を担当した者の健康に対する考え方, 精神的ゆとり, 食に対する思い等, 食周辺にとどまらず教育・人間関係が, 現在の若者の食を含めた基本的な生活, 及び, 現在の食習慣にどのように影響を及ぼしているかを分析した。現在の学生の食習慣, 食行動は過去の環境下での教育・刷り込みの結果であると考えられるからである。

セルフエスティームという観点からも,「食」はキーポイントとみられることから, 過去の食習慣や教育・躾・マナー等, いわゆる食に関する子供の頃の「刷り込み(インプリティング)」と現在の若者の食習慣, 調理能力・食知識・知恵等との関わり及び影響を, 幾つかのモデルを作ることにより検証した。研究会の中心メンバーは成果を, 主に以下の研究としてまとめた。

小林敬子・西岡光世・青山昌二 (1998). 食行動において母親の意識等が与える影響. 第 45 回日本学会学校保健学会講演集. pp. 436-437.
青山昌二・小林敬子・西岡光世 (1998). 家庭環境と食行動の関連について. 第 45 回日本学会学校保健学会講演集. pp. 438-439
西岡光世・小林敬子 (1999 予定). 細身体型者のダイエット行動要因. 第 46 回日本学会学校保健口頭発表予定.

2. 計量社会学研究会

代表者:村瀬洋一(立教大学)

さまざまな所属の研究者が集まり，1年間で8回の研究発表会を行った。社会科学的データの計量分析や計量社会学に関する各自の最新の研究成果を発表し，討論を行った。実証的な社会科学研究について，研究上の知見を得て議論を行い，考察を深めることができた。3月は，活動補助金を用いて遠方から発表者を招き，研究上の交流をすることができた。

平成10年4月4日(土)村瀬洋一(立教大学)「関係的資源保有の格差と規定因 ー有力者との人間関係を指標とした政治的影響力の階層構造」

平成10年5月23日(土)岩間暁子(和光大学)「「場」としての産業界と男性の文化 ーブルデュー理論の実証的検討」

平成10年6月20日(土)林 拓也(東京都立大学)「学歴達成における地域間格差と地域移動」

平成10年7月25日(土) 元治恵子(立教大学)「職業評定の規定因」, 岡太彬訓(立教大学)「1955年から 1995 年までの SSM 世代間職業移動のMDSによる分析」

平成10年9月5日(土) 織田 輝哉(慶應義塾大学)「95SSM調査における不公平感の規定要因」, 安田 雪(立教大学)「ネットワーク分析における推移性の概念ーA社従業員のパーソナルネットワークの事例」

平成10年年12月5日(土) 都築一治(流通経済大学)「行為意味集合と相互作用の形式ーファジイ集合による行為意味の定式化」

平成11年2月27日(土) 星 敦士(東京都立大学)「階層帰属意識の規定要因と判断メカニズムー準拠枠としてのネットワークの機能」

平成11年3月27日(土) 間淵領吾(奈良大学)「社会的不公平感の趨勢ー世論調査データの2次分析」

3. 行動科学研究会

代表者:海野道郎(東北大学)
幹事:木谷 忍(東北大学)

(第1回会合)日時:平成10年5月23日(土)
場所:東北大学文学部行動科学分析室
報告者:鈴木岩弓(東北大学文学部)
題目:『墓碑銘から見た現代人の死生観』

(第2回会合)日時:平成10年7月11日(土)
場所:東北大学文学部行動科学資料室
報告者:篠木幹子(東北大学文学研究科)
題目:『なぜ企業は環境配慮行動に取り組めないのか一宮城県事業所調査の分析ー』

(第3回会合)日時:平成10年9月8日(火)
場所:東北大学文教棟311演習室
報告者:山下英明(東北大学経済学部)
題目:『公平な並び方，効率的な並び方』

(第4回会合)平成10年10月26日(月)
場所:東北大学文学部行動科学分析室
報告者:徳永幸之(東北大学情報科学研究科)
題目:『仙台都市圏パーソントリップ調査に基づく交通行動変化分析』

(第5回会合)平成10年11月30日(月)
場所:東北大学文学部行動科学分析室
報告者:近藤博文(東北大学文学研究科)
題目:『政権追求モデルによる日本の連立政権分析』

(第6回会合)平成10年12月19日(土)
場所:東北大学理学部附属植物園講義室
報告者:石原英樹(千葉大学社会文化科学研究科)
題目:『ノイズのあるレプリケーターダイナミクスによる最終提案ゲームの分析』

(第7回会合)平成11年2月6日(土)
場所:東北大学理学部附属植物園講義室
報告者:三隅一人(九州大学比較社会文化研究科)
題目:『ブール代数による役割モデルの実証的展開』

博士論文・修士論文の紹介

＜博士論文＞

東京工業大学 博士(学術)
寺尾 敦:「数学的問題解決における転移を促進する抽象的知識の獲得について」
What abstraction promotes transfer in mathematical problem solving and how is the knowledge acquired?
主査:楠見 孝
論文要旨: 本研究の目的は数学的問題解決における転移を促す知識の内容とその獲得プロセスを明らかにすることである。第1章では，本研究の目的を説明した。第2章では先行研究のレビューを行った。第3章では，転移を促進する知識の内容を検討した3つの実験が報告された。これらの実験から，「圧縮解法」と呼ぶ等式生成の基本的アイデアの獲得が転移を促進することが明らかになった。第4章では，学習者が圧縮解法や他の問題スキーマを獲得するプロセスのEBL(explanation based leaning)モデルを提案した。第5章では，前章で提案した EBL モデルの妥当性が実験で検証された。第6章では数学教育への応用例を示した。第7章では総括を行った。

東京工業大学 博士(学術)
上市秀雄:「個人的リスク志向．回避志向の個人差を規定する要因の分析」
Effects of individual differences and simulations on risk-taking behavior.
主査:楠見 孝
論文要旨: 本論文では個人的リスク志向・回避行動(以下リスク行動)の個人差を規定する要因を特定し，

そして様々なリスク状況おける，リスク行動決定プロセス，結果の総合評価のフィードバックプロセスを共分散構造分析によって検討した。その結果，リスク行動を決定するプロセスは，(a)情緒不安定性→重要度評価→コスト・ベネフィット認知→リスク行動，(b)開放性→能力評価→リスク認知→リスク行動，リスク行動決定後のフィードバックプロセスは，(c)満足度評価→能力評価，(d)行動の正当性評価→重要度評価，(e)結果の原因帰属→後悔評価→リスク帰属(リスクを制御可能な身体的状況)であることが示された。そして個人的なリスク状況下における各個人のリスク行動を説明するダイナミック・リスクテイキングモデルを提案した。

＜修士論文＞
東京工業大学 修士(工学)
松岡隆史： 洞察的記憶検索過程のニューラルネットワークモデルの構成

大澤利佳子： 少年非行事例の解釈を支える信念，知識，類推

＜前号訂正＞
以下の修士論文は前号で誤って博士論文欄に記入されていました。改めて以下に掲載させていただきます。御迷惑をお掛けいたしましたこと，お詫び申し上げます。

筑波大学 修士(理学)
津田美幸： An Unbiased Test for the Bioequivalence Problem

飛田英祐： 統計的区間予測とその応用

東京理科大学 修士(情報科学)
鈴木淳一：Quasi-Independence and Conditional Symmetry Models for Incomplete 2x2x2 Contingency Tables

槙井剛志：Generalized Measures of Departure from Marginal Homogeneity for Contingency Tables with Nominal Categories

小林正明：Robustness of the Tests for Dimensionality in Multivariate Analysis of Variance

高橋文明：On the Behavior of Asymptotic Distributions of Sample Roots in Multivariate Analysis of Variance

日本計算機統計学会「オンライン・パネルディスカッション」のご紹介

北海道大学の山本義郎さんから，下記のような紹介記事がメイリング・リスト stats に流れました(6月末)ので，ご紹介します。

この度，日本計算機統計学会(jscs.or.jp)では，新しい試みとして「オンラインパネルディスカッション」を企画しました。具体的な内容としては，実行委員会が設定したテーマに対し，3名のパネラーの先生から基調提案を頂き，Web上に掲載，CGIを用いた掲示板を通じて会員，非会員を問わず広く意見交換，議論を行ない，最終的には今秋に予定している本学会シンポジウム(於 東京)にセッションを設け，総括議論を行なう予定です。

今回設定されたテーマは，「統計教育はこれでいいのか!? － 新しい教育環境における計算機統計 －」とし，岡山大学 環境理工学部の垂水共之 教授にオーガナイザーをお願いしました。また，議論中，パネラーの3先生のご芳名は伏せる形を取っていますので，忌憚ないご意見を頂戴できるものと期待しております :-)。

議論の「会場」であるURLは，
http://www.jscs.or.jp/onlinesympo/
です。既に基調提案は Web 上に掲載されており，議論も始まっております。

参加手続等は一切ありませんので，ぜひ多くの御参加をお願い致します。お気づきの点などありましたら，同 Web 上のメールアドレスまでお寄せ下さい。なお，より多くの方に参加頂けますよう，関連する掲示板等にこのアナウンスを転載頂ければ幸甚に存じます。

御協力，御参加をお待ちしております。

山本義郎 <yama@main.eng.hokudai.ac.jp>
北海道大学工学研究科 情報解析学分野
〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目
Tel:011-706-7160 Fax:011-706-7840

関連学会等カレンダー

＜学会大会等＞

☆日本心理学会 第63回大会
会 期：1999年9月5日(日)～7日(火)
会 場：中京大学・名古屋学舎
名古屋市昭和区八事本町101-2
照会先：大会準備委員会
〒466-8666 中京大学文学部心理学研究室内
E-mail: jpa99@cnc.chukyo-u.ac.jp
Tel: 052-832-2151(代表), 052-835-7160(心理)
Fax: 052-835-7144(心理事務)
大会ホームページ
http://www.chukyo-u.ac.jp/~jpa99/

☆日本性格心理学会 第8回大会
会 期：1999年9月9日(木)～10日(金)

会 場:育英短期大学
照会先:大会準備委員会事務局
〒370-0011 高崎市京目町1656-1
Fax: 027-353-8225 (手島茂樹)

☆産業・組織心理学会 第15回大会

会 期:1999年9月9日(木)～10日(金)
会 場:富士短期大学高田講堂
照会先:富士短期大学
Tel: 03-3368-0351, Fax:03-5386-0567
Fax: 052-835-7144(心理事務)
大会ホームページ

☆第28回数理社会学会大会

会 期:1999年9月11日(土)～12日(日)
会 場:東北大学川内キャンパス
照会先:大会事務局
〒980-8576 仙台市青葉区川内
東北大学文学部行動科学研究室 佐藤嘉倫
E-mail: ysato@sal.tohoku.ac.jp
Tel: 022-217-6036(直通),
Tel: 022-217-6037(行動科学研究室)
Fax: 022-217-5972(研究室共通)
http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jams/index.html

☆日本応用心理学会第66回大会

会 期:1999年9月11日(土)～12日(日)
会 場:東京国際大学
照会先:大会事務局
東京国際大学 人間社会学部
Tel: 0492-32-3111,

☆日本グループ・ダイナミックス学会第47回大会

会 期:1999年9月18日(土)～19日(日)
会 場:大阪国際女子大学
照会先:大会事務局
大阪国際女子大学
Tel: 06-902-0791

☆日本神経回路学会 第9回全国大会 (JNNS'99 札幌)

会 期:1999年9月20日(月)～22日(水)
会 場:新さっぽろパレスホテル
(札幌市厚別区厚別中央2条5丁目)
照会先:「JNNS'99 札幌」事務局
Tel : -011-706-6636, Fax: 011-716-6175
E-mail : jnns99@nd-ap.eng.hokudai.ac.jp
http://jnns.inf.eng.tamagawa.ac.jp/home-j.html

☆日本教育社会学会第51回大会

会 期:1999年10月1日(金)～3日(日)
会 場:東京大学大学院総合文化研究科・教養学部(駒場キャンパス)
照会先:大会実行委員会
〒113-0033 文京区本郷7-3-1
東京大学大学院教育学研究科・教育学部
比較教育社会学研究室
Tel:03-5841-3943, Fax:03-5800-6814
http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jses2/a2/taikai-home.html

☆日本応用数理学会平成11年度年会

会 期:1999年10月4日(月)～6日(水)
会 場:愛媛大学 工学部
(松山市文京町3)
照会先:年会担当 野田 松太郎, 天野 要
Tel: 089-927-9954(野田), 9966(天野)
Fax: 089-927-9973(情報工学科事務室)
E-mail : jsiam99@cs.ehime--u.ac.jp
http://jsiam99.cs.ehime-u.ac.jp/

☆第72回日本社会学会大会

会 期:1999年10月10日(日)～11日(月)
会 場:上智大学
照会先:日本社会学会事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1
東京大学文学部社会学研究室内
Tel: 03-5841-8933, Fax: 03-3815-6672
http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jss/conf.html

☆日本基礎心理学会第18回大会

会 期:1999年10月10日(日)～11日(月)
会 場:聖心女子大学
照会先:聖心女子大学 川上清文
Tel: 03-3407-5987, Fax:03-3407-1986

☆日本健康心理学会第12回大会

会 期:1999年10月23日(土)～24日(日)
会 場:岡山大学教育学部
照会先:岡山大学教育学部 田中宏二
Tel: 086-251-7721, Fax:086-251-7726

☆日本社会心理学会第40回大会

会 期:1999年10月30日(土)～31日(日)
会 場:慶應義塾大学三田キャンパス
照会先:大会準備委員会事務局
〒108-8345 東京都港区三田 2－15－45
慶應義塾大学文学部社会心理学研究室
Fax: 03-3798-7480
Tel;. 03-3453-4511 内線 3068
http://www.flet.keio.ac.jp/~platon/social40.html

☆日本教育情報学会第15回大会

会 期:1999年11月13日(土)～14日(日)
会 場:国立オリンピック記念青少年総合センター
東京都渋谷区代々木神園町3番1号
内 容:シンポジウム「通信ネットワークを教育にど

う活用すればよいか」，パネル討論「新しい時代の生涯学習情報の利用」，課題研究「総合学習における情報教育の取り組み」他
照会先：大会実行委員会事務局
〒352-8510 埼玉県新座市菅沢 2-1-28
十文字学園女子大学 内
Tel:03-5841-3943, Fax:03-5800-6814
若山皖一郎(wakayama@jumonji-u.ac.jp)
http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jsei/99nen1.html

☆第18回日本動物行動学会大会

会 期：1999年11月19日(金)～21日(日)
会 場：中京大学名古屋キャンパス
（名古屋市昭和区八事本町 101-2）
内 容：11月20日(土) 公開講演会「動物行動学からみた心の進化」 講師：日高敏隆(滋賀県立大)，長谷川真理子(専修大)，小川秀司(中京大) 他。
照会先：大会事務局
中京大学教養部 桑村哲生
Tel: 052-832-2151(ex.6534), Fax: 052-835-7183
E-mail: kuwamura@lets.chukyo-u.ac.jp
または 小川秀司
Tel: 0565-45-0971 (ex.465), Fax: 0565-46-1298
E-mail: hogawa@lets.chukyo-u.ac.jp
http://www.i-mde.tmd.ac.jp/Ethol/JEMEET18.html

☆日本スポーツ心理学会第26回大会

会 期：1999年11月27日(金)～28日(土)
会 場：日本大学会館
照会先：日本スポーツ心理学会事務局
Tel: 03-5317-9717, Fax:03-5317-9426

＜研究会・シンポジウム等＞

☆研究集会『統計数理とデータマイニング，発見科学』

日 時：1999年 10月7日(木)～8日(金)
会 場：統計数理研究所講堂
（東京都港区南麻布 4-6-7）
講演予定者：荒木徹(京大太陽惑星系),今井浩(東大情報科学)，尾形良彦(統数研)，加藤直樹(京大建築)，坂本慶行(統数研),篠原歩(九大情報理学),橋本哲男(統数研),樋口知之(統数研)，宮野悟(東大医科研),森下真一(東大医科研)
照会先：今井 浩(東京大学)
imai@is.s.u-tokyo.ac.jp
土谷 隆(統計数理研究所)
tsuchiya@sun312.ism.ac.jp

☆応用統計学会第21回シンポジウム

日 時：1999年 10月26日(火)午後～27日(水)
会 場：統計数理研究所
（東京都港区南麻布 4-6-7）
テーマ：不等式制約下のモデリング
その他一般講演あり。
照会先：応用統計学会事務局
〒107-0062 東京都港区南青山 6-3-9
大和ビル 2F(財)統計情報研究開発センター内
Fax: 03-5467-0484,
E-mail: applstat@sinfonica.or.jp

☆日本計算機統計学会第13回シンポジウム

日 時：1999年 10月28日(木)～ 29日(金)
会 場：全国大学生活協同組合連合会 ヴァ—シティホール
東京都杉並区和田3－30－22
内 容：特別講演 伊理正夫(中央大学：演題未定)，小柳義夫(東京大学：演題未定)，特別セッション「第1回オンラインパネルディスカッション」『統計教育はこれでいいのか !?-- 新しい教育環境における計算機統計--』，データマイニングに関するセッションなど。
照会先：第13回シンポジウム事務局
〒160-0022 東京都新宿区新宿2－4－3
フォーシーズンビル 10F
株式会社 数理システム 内
Tel. 03-3358-6681, Fax03-3358-1727
E-mail jscs13@msi.co.jp
http://www.jscs.or.jp/taikai/sympo13/

☆第4回 曖昧な気持ちに挑むワークショップ

主 催：日本ファジィ学会 評価問題研究会
会 期：1999年 11月 13日 (土) ～ 14日 (日)
会 場：岡山大学 教育学部 本館 3階 シミュレーションルーム No.2
照会先：吉川 歩
〒700-8530 岡山市津島中 3-1-1
岡山大学教育学部情報基礎学講座
E-mail: ayumi@sip.ed.okayama-u.ac.jp
FAX: 086-251-7755
http://sip.ed.okayama-u.ac.jp/soft/hm99.html

＜チュートリアル類＞

☆応用統計学会 チュートリアル・セミナー

日 時：1999年 10月26日(火)9:30-12:00
会 場：統計数理研究所
（東京都港区南麻布 4-6-7）
テーマ：データ・マイニング
オーガナイザー・司会：馬場康維(統計数理研究所)・岩崎 学(成蹊大学)
講師・演題(予定)：
幸田正人(筑波大学) 演題未定
W. DuMouchel (AT & T Shannon Laboratory)
"Bayesian Data Mining in Large Frequency Tables, with an Application to the FDA Spontaneous Reporting System".
参加費：正会員 2,000円，非会員 5,000円，
学生(正会員，非会員とも)1,000円
照会先：応用統計学会事務局
〒107-0062 東京都港区南青山 6-3-9
大和ビル 2F(財)統計情報研究開発センター内
Fax: 03-5467-0484,

E-mail: applstat@sinfonica.or.jp

＜科研費によるシンポジウム＞

日本数学会統計数学分科会が"共催"する今年度の科研の研究集会の案内は

http://www.math.kobe-u.ac.jp/HOME/higuchi/ms99.html

を参照。

☆「カオスと非線形時系列・第2回博多シンポジュウム」

複雑非線形現象の統計理論の開発と応用」[基盤研究(B)(1)](研究代表者:柳川 堯, 課題番号:09440083)によるシンポジウム

研究分担者:柿沢佳秀(北大), 田栗正章(千葉大), 笛田 薫(九大), 柳川 堯(九大)

日 時:1999年9月9日(木)～11日(土)

会 場:九州大学大学院数理学研究科

内容・目的:非線形(時系列に限定せず), 複雑系に関する最近の統計的研究の紹介および研究発表。

外国人研究者による特別講演。Howell Tong 教授「Non-linear Time Series: A Dynamical System Approach(Oxford)」の著者。Geoff McLachLan 教授「The EM Algorithm and Extensions (Wiley)」の著者, 非線形問題へのEMアルゴリズムの応用に関する話題提供予定 Young Truong 教授 Nonparametric regression の分野で活躍, Charles Stone 教授との Wald Lecture 共著者

照会先:柿沢 佳秀(北海道大学経済学部)

E-mail: kakizawa@econ.hokudai.ac.jp

Fax: 011-706-4947

☆ シンポジウム「非線形モデルとコンピュータ」

非線形統計モデルにおける統計理論とその応用の研究」[基盤研究(A)(1)] (研究代表者:白旗慎吾, 課題番号:09304024)によるシンポジウム

研究分担者:白旗慎吾, 後藤昌司, 坂本 亘

日 時:1999年11月11日(木)～12日(金)

会 場:金沢大学共同研究センター

金沢市角間町(http://www.ccr.kanazawa-u.ac.jp)

内容・目的:非線形統計モデルやそれに基づくデータの解析には必然的にコンピュータを多用する。本研究集会ではコンピュータの多用を前提とした非線形諸手法, シミュレーションによる解析法, 統計グラフィックス等の研究発表, 研究紹介をする。

照会先;: 〒560-8531 豊中市待兼山町1－3

大阪大学大学院基礎工学研究科情報数理系数理科学分野 白旗慎吾

e-mail: sirahata@sigmath.es.osaka-u.ac.jp

http://www.sigmath.es.osaka-u.ac.jp/j-intro.htm

☆ シンポジウム「多変量解析～線形から非線形へ～」

非正則推測理論と情報量の概念に関する研究」[基盤研究(A)(1)](研究代表者:赤平昌文, 課題番号10304005)によるシンポジウム

研究分担者:若木宏文(広島大), 藤越康祝(広島大)

日 時:1999年12月9日(木)～11日(土)

会 場:広島大学

内容・目的:コンピュータが発展し膨大なデータが扱えるようになった結果, 非線形構造のもとでの分析が現実的なものとなり, その研究が盛んになってきている。古典的な分析法に対比させた非線形統計手法のパフォーマンスに焦点を当て, 議論する。理論, 応用を問わず, 多変量解析手法の評価, 改良や新手法の提案など様々な話題を提供する。

照会先: 若木宏文(広島大学理学部数学教室)

〒739-8626 東広島市鏡山1－3－1

Tel & Fax : 0824-24-7359

E-mail : wakaki@math.sci.hiroshima-u.ac.jp

☆ シンポジウム「探索的データ解析法と計算集約型統計手法」

複雑非線形現象の統計理論の開発と応用 [基盤研究(B)(1)](研究代表者:柳川 堯, 課題番号:09440083によるシンポジウム

研究分担者:福地純一郎(広大), 大瀧 慈(広大), 小西貞則(九大)越智義道(大分大), 藤井良宜(宮崎大)

日 時:1999年12月16日(木)～18日(土)

会 場:愛媛県松山市道後 にぎたつ会館

内 容: Sliced Inverse Regression などの探索的多変量データ解析法や広い意味での計算集約型統計手法に関連する研究発表。SIR 法の考案者である Ker-Chau Li 教授(UCLA)と SIR 法の発展に大きく貢献されている Lixing Zhu 教授(Honkong University)が講演予定。

照会先;: 福地純一郎(広島大学経済学部)

Tel. 0824-24-7214, Fax. 0824-24-7212

E-mail : jfukuch@ipc.hiroshima-u.ac.jp

公募情報

※時期的に非常に沢山の公募が出ています。例えば, 下記学術情報センターの「研究者公募情報」でキーワード検索を行うと, 本号編集時点(8 月上旬)で「社会学」に対して52件, 「心理学」36件, 「看護学」16件, 「統計」11件, 「マーケティング」7件, 「社会調査」7件, 等となります。本欄では学会宛直接依頼が来たもの, 及び会員各位に関係の深いと思われる主なものを紹介します。(編集担当)。

以下の公募は, 応募期限の早い順に並んでいます. 応募資格等, 研究者等の公募情報の詳細については, 文部省学術情報センターの「研究者公募情報提供事業」(NACSIS-CIS)の下記 WEB ページも参照して下さい.

http://nacwww.nacsis.ac.jp/index.htm

ただし, 以下には, 同ページに含まれていない公募情報も掲載されている場合があります.

☆ 福島大学行政社会学部

職名・人員:助教授または講師 1名

授業科目:「社会調査論」
採用時期: 平成12年4月1日
応募期限: 平成11年9月3日
照会先;: 〒960-1296 福島市松川町浅川字直道2番地 福島大学行政社会学部 庶務第一係
Tel: 024-548-8252,

☆ **福島大学行政社会学部**
職名・人員:助教授または講師 1名
授業科目:「情報社会論」(情報メディアやコンピュータ・ネットワークなどと社会との関わり, コンピュータの基礎的教育(コンピュータ・リテラシー教育)ができることが望ましい。)
採用時期: 平成12年4月1日
応募期限: 平成11年9月3日
照会先;: 〒960-1296 福島市松川町浅川字直道2番地 福島大学行政社会学部 庶務第一係
Tel: 024-548-8252,

☆ **統計数理研究所**
所 属:統計基礎研究系 応用確率論研究部門
職名・人員:文部教官助教授 1名
研究分野等:統計理論一般(統計学の新しいフロンティアを開く統計理論を展開できる研究者を募集する。たとえば, 情報幾何, 学習理論, セミパラメトリックス, 確率解析, 量子統計推測論, グラフィカルモデル, 潜在構造モデル)
採用予定:平成11年12月1日以降の早い時期
応募期限:1999年9月3日
照会先:〒106-8569 東京都港区南麻布4-6-7 統計数理研究所 管理部庶務課人事係
Tel: 03-5421-8707, Fax 03-3443-3552
http://www.ism.ac.jp

☆ **統計数理研究所**
所 属:調査実験解析研究系 パターン解析研究部門
職名・人員:文部教官助教授 1名
研究分野等:データ科学, 統計的データ解析に関する方法論及び応用研究(データ科学の観点に立って, たとえば, 多次元・多変量データの類型化・分類法, 定性情報の解析法, 関連統計ソフトウェアの開発等に関心のある方を希望)
採用予定:平成11年12月1日以降の早い時期
応募期限:1999年9月3日
照会先:〒106-8569 東京都港区南麻布4-6-7 統計数理研究所 管理部庶務課人事係
Tel: 03-5421-8707, Fax 03-3443-3552
http://www.ism.ac.jp

☆ **統計数理研究所**
所 属:領域統計研究系 人文社会科学領域研究部門
職名・人員:文部教官助手 1名
研究分野等:人文・社会科学における, 統計手法の理論的研究かつ統計的実証分析(たとえば, 国際比較調査におけるデータ収集の方法論や統計的解析手法を開発, 応用する能力を持ち, 国際的, 学際的共同研究を推進する意欲のある方などの応募を歓迎)
採用予定:平成11年12月1日以降の早い時期
応募期限:1999年9月3日
照会先:〒106-8569 東京都港区南麻布4-6-7 統計数理研究所 管理部庶務課人事係
Tel: 03-5421-8707, Fax 03-3443-3552
http://www.ism.ac.jp

☆ **駒澤大学文学部**
職名・人員:教授または助教授1名
専門分野:臨床・社会・家族・コミュニティ・教育領域における心理学の基礎および応用研究者
担当科目:心理学関係の講義・実習・演習・論文指導など4科目以上
採用予定:平成12年4月1日
応募期限:1999年9月10日
照会先:〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1 駒澤大学文学部心理学科 人事専攻委員会
Tel: 03-3418-9303

☆ **名城大学教職課程部**
職名・人数 助教授または講師 1名
専門分野: 「発達(青年)」, 「社会(学級集団)」, 「人格」のいずれかについての教育心理学研究
主な担当授業科目:「教育心理学I」(幼児, 児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程)「教育心理学II」(生徒指導及び進路指導の理論及び方法)「学校教育相談」(教育相談の理論及び方法)
応募期限:平成11年9月10日
採用予定日:平成12年4月1日
照会先: 名城大学 教職課程部長 伊藤康児
または 教職課程部 事務室
〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口1-501
Tel; 052-832-1151 内線5510
E-mail: kkoffice@meijo-u.ac.jp

☆ **桃山学院大学社会学部**
職名・人員:教授または助教授 1名
主担当科目:「社会調査」(「社会学基礎講義」および「社会調査実習」も担当しうること)
採用時期: 平成12年4月1日
応募期限: 平成11年9月10日
照会先;: 〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1 桃山学院大学 学部事務室
Tel: 0725-54-3131(代), Fax 0725-54-3202

☆ **大妻女子大学社会情報学部**
職名・人員:講師以上 1名
専門科目:認知科学 または 情報システム
担当授業科目:認知科学または情報システム論演習の他に, 次の開講科目の中から3科目程度担当。開講科目:コミュニケーション論, 社会情報処理論及び演習(コンピュータの基礎), データベース論, 情報処理実習I(コンピュータリテラシー)
採用予定:平成12年4月1日
応募期限:1999年9月14日
照会先:〒206-8540 東京都多摩市唐木田2-7-1 大妻女子大学社会情報学部社会情報処理学専攻主任 教授 安達俊美

Tel: 042-339-0052, Fax 042-339-0044
e-mail: adachi@otsuma.ac.jp

☆日本福祉大学情報社会科学部
所属:情報社会科学部情報社会科学科
職名・人員:助教授または教授 1名
専門分野:社会心理学
担当科目:社会心理学, 心理学通論, 人間関係学, 多変量解析, ユニット専門演習(行動情報ユニット), 卒業研究Ⅰ, 卒業研究Ⅱ。大学院科目も担当できる者が望ましい。
採用時期: 平成12年4月1日
応募期限: 平成11年9月20日
照会先;:〒475-0012 愛知県半田市東生見町26-2 日本福祉大学情報社会学部事務室
Tel: 0569-20-0011, Fax 0569-20-0119

☆法政大学社会学部
募集学科:社会学部社会学科
職名・人員:専任講師, 助教授, または教授 1名
担当科目:「体育(実技および講義・演習)」ただし講義・演習の内容はスポーツ社会学(スポーツの社会的機能, スポーツ行政, スポーツ財政, リーダーシップ論, チームワーク論等)とする。
採用時期:原則として 2000年4月1日
応募期限: 平成11年9月21日正午必着
照会先;:〒194-0298 東京都町田市相原町4342 法政大学 多摩学務部 社会学部事務課
Tel: 042-783-2351

☆名古屋大学情報文化学部
所属:社会システム情報学科 情報行動論講座
職名・人員: 助教授または講師1名
専門分野:認知心理学とその関連領域
採用時期: 2000年4月1日
応募期限: 1999年9月24日
照会先: 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学情報文化学部 情報行動論講座 川口 潤
Tel: 052-789-3505, Fax: 052-789-4800
E-mail: jun@info.human.nagoya-u.ac.jp

☆武蔵大学社会学部
募集学科:社会学部社会学科
職名・人員:専任講師または助教授
採用予定分野:社会心理, 国際, エスニシティ, 環境または家族問題などの社会学分野
職務内容:①専門分野を中心とする学部の講義・演習, ②社会学関連一般の概論・演習・調査の講義・実習③学内の教務関連などの事務的業務および学生指導④大学院の講義・演習を担当する場合もあり。
採用時期: 2000年4月1日
応募期限: 平成11年9月24日
照会先;:〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1 武蔵大学 学務事務部 庶務課
Tel: 03-5984-3727, Fax: 03-5984-3879
E-mail: orito@sec.musashi.ac.jp

☆豊橋技術科学大学知識情報工学系
所属講座: 知識情報工学系機能情報工学講座
職名・人員: 助教授または講師 1名
専門領域:認知工学, 認知科学, 認知心理学に関連する分野の研究
担当授業科目:上記の領域と関連のある専門科目ならびにその基礎となるコンピュータ・数学関連科目
採用時期: 平成12年4月1日までの出来るだけ早い時期
応募期限: 平成11年9月30日
照 会 先;:〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 豊橋技術科学大学知識情報工学系長 阿部英次
Tel: 0532-44-6877, Fax: 0532-44-6873
E-mail:abe@cilab.tutkie.tut.ac.jp

☆和光大学人間関係学部
所属:人間関係学部人間発達学科
職名・人員:講師, 助教授または教授 1名
専門分野:心理学ないしその近接分野
担当科目:「労働と生涯発達」,「職場のメンタルヘルス」「発達とカウンセリング」など。この他に, 研究方法に関する科目や共通教養科目(「人間の心理」)を担当することあり。
採用時期: 平成12年4月1日
応募期限: 平成11年9月30日
照会先;:〒195-8585 東京都町田市金井町 2160 和光大学学部事務室
Tel: 044-989-7497

☆早稲田大学人間科学部
所属学科: 人間健康科学科
職名・人員:教授, または, 助教授, または, 専任講師1名
専門領域:心身医学, または, 精神医学, または, 臨床心理学
担当授業科目:健康科学基礎講義(分担), 心と健康(分担), 実験調査研究法(行動検査法, 事例研究法, 心理検査法等), 専門分野に関連する科目, 演習, 卒業研究
採用時期: 平成12年4月1日
応募期限: 平成11年9月30日
照会先;:〒359-1192 埼玉県所沢市三ヶ島2−579−15 早稲田大学人間科学部人間健康科学科 坂野雄二
Tel & Fax: 042-947-6758
E-mail:wasbt@human.waseda.ac.jp

☆島根大学法文学部
所属: 社会システム学科・行動社会講座・社会情報研究室
職名・人員:教授, 助教授または講師 1名
担当教育等:法文学部基礎教育科目「情報」にかかわる授業「情報科学演習」(1年生対象のコンピュータ入門)を前期4コマ程度, 後期4コマ程度, 計8コマ程度担当するとともに, 法文学部情報処理教育の基盤整備を行なう。大学院修士課程「社会情報特別演習」を担当する場合もある。社会科学全般に広く関心を持ち, 心理学・社会学・地理学・文化人類学・考古学等の

分野を専攻し，コンピュータを用いた研究・教育実績のある者。
採用時期： 平成12年4月1日
応募期限： 平成11年9月30日
照会先;: 〒690-8504 松江市西川津町1060 島根大学法文学部システム学科行動社会講座（小林）
Tel: 0852-32-6188
E-mail : hisak@soc.shimane-u.ac.jp

☆滋賀大学経済学部（再掲載）
所属講座： 情報管理学科「数理科学」講座
職名・人員： 助手 1名
担当授業科目： 確率・統計，線形代数学等
採用時期： 平成12年4月1日
応募期限： 平成11年9月30日
照 会 先;: 滋賀大学経済学部長
〒522-8522 彦根市馬場1丁目1－1
TEL 0749(27)1030

☆広島修道大学人文学部（再掲載）
職名・人員： 教授，若しくは助教授1名
担当学科目： 家族社会学
採用時期： 2000年4月1日
応募期限： 1999年9月30日
照会先： 広島修道大学 人事課
〒731-3195 広島市安佐南区大塚東1-1-1
Tel:082-831-1105, Fax:082-830-1325

☆信州大学教育学部
講座・分野名：教育科学講座・教育心理学分野
職名・人員： 助教授1名
担当授業科目：ア．学部：臨床心理学および生徒指導，教育相談など。 イ．大学院：教育心理学特論，教育心理学演習など。
採用時期： 2000年4月1日
応募期限： 1999年9月30日
照会先： 〒380-8544 長野市西長野六の口
信州大学教育学部教育科学講座教官専攻委員会委員長 守 一雄
Tel:026-238-4214
e-mail: kazmori@gipnc.shinshu-u.ac.jp

☆明治学院大学社会学部
職名・人員： 教授・助教授・講師のいずれか1名
担当授業科目：「社会倫理学」「社会学の入門的授業（基礎演習，古典講読等）」
採用時期： 2000年4月1日
応募期限： 1999年9月30日
照会先： 〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37 明治学院大学総務部人事課
Tel:03-5421-5117

☆ 甲南大学理学部
学科： 応用数学科
職名・人員： 講師または助教授1名
専攻分野：システム工学（複雑系，カオス，非線形システムなど）または計算機科学（計算機ハードウェア，ソフトウェア）
担当科目：いかの科目のいくつかを予定。システム工学，コンピュータ・アーキテクチャ，オペレーティングシステム，コンパイラなど。および計算機プログラミング実習（主としてプログラミング言語とその応用）
採用時期： 2000年4月1日
応募期限： 1999年9月30日
照会先： 〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1 甲南大学理学部応用数学科主任 服部雄一
Tel&Fax: 078-435-2532
E-mail: hattori@konan-u.ac.jp

☆名古屋大学文学部
所属講座：心理学講座
職名・人員：教授または助教授 1名
専門分野：広義の基礎心理学を研究分野としており，本学部の心理学スタッフの専門領域（動物心理学，知覚心理学，社会心理学）と重ならない者
採用時期： 平成12年4月1日または平成12年10月1日
応募期限： 平成11年10月1日
照会先：〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学文学部心理学講座
Fax: 062-789-2272
E-mail: i450865@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp

☆関西学院大学総合政策学部
職名・人員：助教授，専任講師 1名
専攻分野：社会学
担当講義科目：「社会学概論」および産業社会学，環境社会学関連の科目
採用時期： 原則として平成12年4月1日から就任できる方
応募期限： 平成11年10月1日
照会先;: 〒669-1337 兵庫県三田市学園2-1 関西学院大学総合政策学部
Tel: 0795-65-7600, Fax: 0795-65-7605

☆ 立教大学社会学部
所 属：社会学部 産業関係学科
職名・人員：教授または助教授 1名
専門領域：経営学，経営情報論，情報社会論
担当科目：「現代経営情報論」「経営学概論」「行動科学系特殊演習（大学院科目）」，加えて全学共通カリキュラム（社会学系分野）及び学科基礎科目などをローテーションで分担
任用予定：2000年 4月 1日
応募期限：1999年10月5日
照会先：〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34 立教大学社会学部 産業関係学科 山口和範
Tel: 03-3985-2325
E-mail: kyamagu@rikkyo.ac.jp

☆ 立教大学社会学部
所 属：社会学部 産業関係学科
職名・人員：教授または助教授 1名
専門領域：産業関係論，人事労務管理，社会学
担当科目：「産業関係論」「ヒューマンリソースマネージメント」「社会学系特殊演習（大学院科目）」，加えて全学共通カリキュラム（社会学系分野）

及び学科基礎科目などをローテーションで分担
任用予定:2000年 4月 1日
応募期限:1999年10月5日
照会先:〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34
立教大学社会学部 産業関係学科 安田 雪
Tel: 03-3985-2811 E-mail: yasuda@rikkyo.ac.jp

☆中京大学教養部
職名・人員:教授, 助教授または講師 1名
担当科目:社会学およびその関連科目
担当講義科目:「社会学概論」および産業社会学, 環境社会学関連の科目
採用時期: 原則として平成12年4月1日から就任できる方
応募期限: 平成11年10月12日
照会先;:〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2 中京大学教養部長 中田友一
Tel: 052-832-2151 (内線 6114)

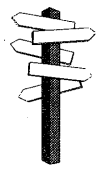
☆ 文教大学情報学部
所 属:情報学部情報システム学科
職名・人員:教授または助教授 1名
専門領域等:認知心理学・教育心理学(認知科学, 情報行動研究法, コンピュータを利用したテクニカルコミュニケーション, 基礎ゼミナール, ゼミナール, 卒業関係の科目を担当。後期中等教育課程における情報教育に関心のある方を希望)
任用予定:2000年 4月 1日
応募期限:1999年10月22日
照会先: 担当科目等:文教大学情報学部情報システム学科長 恵羅 博, 事務手続等:文教大学湘南校舎総務課長角田和昭
〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100
Tel: 0463-53-2111(代表),
0457-54-3703(総務課ダイヤルイン)

☆ 文教大学情報学部
所 属:情報学部広報学科
職名・人員:助教授または講師 1名
専門領域等:「社会心理学」〔担当予定科目:社会心理学, コミュニケーション論, 社会調査演習, ゼミナールⅠ, 卒業研究(またはゼミナールⅡ)〕
任用予定:2000年 4月 1日
応募期限:1999年10月22日
照会先: 担当科目等:文教大学情報学部広報学科長 武藤幸男, 事務手続等:文教大学湘南校舎総務課長角田和昭
〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100
Tel: 0463-53-2111(代表),
0457-54-3703(総務課ダイヤルイン)

☆ 文教大学情報学部
所 属:情報学部経営情報学科
職名・人員:教授, 助教授, 講師のいずれか 1名
専門領域等:「経営科学」〔意志決定論, 経営基礎数学, 情報処理関連科目を担当できること〕
任用予定:2000年 4月 1日
応募期限:1999年10月22日
照会先: 担当科目等:文教大学情報学部経営情報学科長 坪井順一, 事務手続等:文教大学湘南校舎総務課長角田和昭
〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100
Tel: 0463-53-2111(代表),
0457-54-3703(総務課ダイヤルイン)

会員の著書等

☆ 朝野熙彦「行列・ベクトル入門--文系でもいきなりわかる--」同友館, 1998年.
☆ 市川伸一・和田秀樹「学力危機—受験と教育をめぐる徹底対論--」河出書房新社, 1999年
☆ 市川伸一(編著)「認知カウンセリングから見た学習方法の相談と指導」ブレーン出版, 1998年
☆ 市川伸一「確率の理解を探る--3 囚人問題とその周辺--」共立出版, 1998年.
☆ 伊藤秀子・大塚雄作(編)「ガイドブック大学授業の改善」有斐閣, 1999年.
☆ 室 淳子・石村貞夫「Excel でやさしく学ぶ多変量解析」東京図書, 1999年.
☆ 室 淳子・石村貞夫「SPSS でやさしく学ぶ統計解析」東京図書, 1999年.
☆ 岡本安晴「Delphi でエンジョイプログラミング--心と行動の科学がわかる心理学シミュレーション--」CQ出版, 1999年.
☆ 岡本安晴「Delphi で学ぶデータ分析法--プログラミングによる統計処理の実践的アプローチ--」CQ出版, 1998年.
☆ 栗田宣義(編)「データブック／社会学--調査データでわかる日本社会--」川島書店, 1999年
☆ 繁桝算男・柳井晴夫・森敏昭(編)「Q&A で知る統計データ解析--DOs and DON'Ts--」サイエンス社, 1999年
☆ 田中 豊・垂水共之(編)「統計解析ハンドブック Windows 版ノンパラメトリック法」共立出版, 1999年
☆ 山本嘉一郎・小野寺孝義(編)「Amos による共分散構造分析と解析事例」ナカニシヤ出版, 1999年
☆ T. W. マンジョーニ著 林 英夫(監訳)・村田晴路(訳)「郵送調査法の実際—調査における品質管理のノウハウ--」同友館, 1999年



学会誌論文投稿先

和文誌「行動計量学」

〒305-8575 茨城県つくば市天王台 1-1-1
筑波大学臨床医学系産婦人科
久保武士
TEL: 0298-53-3071, FAX: 0298-53-3072
e-mail: sigemitu@md.tsukuba.ac.jp

欧文誌「Behaviormetrika」

〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1
東京大学総合文化研究科生命科学専攻
繁桝算男
TEL:03-5454-6267, FAX:03-3485-0481
e-mail: kshige@bayes.c.u-tokyo.ac.jp

入会手続き

学会では新入会員を広く募っています.
詳しくは,
〒113-8622 東京都文京区本駒込 5-16-9
学会センター C-21
(財) 日本学会事務センター内
日本行動計量学会係
TEL: 03-5814-5810
FAX: 03-5814-5825
まで, お問い合わせ下さい.

行動計量学会会員数

(1999年5月現在)

正会員	948人
準会員	45人
名誉会員	6人
賛助会員	19社

編集後記

第27回日本行動計量学会開催まであと1月足らずになりました。岡山の方の準備も順調のようです。ぜひ, 御出席ください。

会報を会員相互のコミュニケーションの場としても, 活用して下さい。会員の皆様からの御意見など, お待ちしております。会員の方の指導された修士論文, 博士論文, 会員の方の出版された書籍などを会報で紹介していきたいと思います。情報をお寄せ下さい。原稿の送り先は次の通りです。

会報原稿送付先

〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1
帝京大学医学部衛生学公衆衛生学教室
山岡 和枝
TEL: 03-3964-1211(内 2178)
FAX: 03-3964-1058
e-mail: kazue@med.teikyo-u.ac.jp

(会報作成担当: 山岡和枝・前田忠彦・山下智志)

☆☆☆WEBページ情報☆☆☆

日本行動計量学会 WEB ページ

http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/bsj/index.html

日本行動計量学会第27回大会 web ページ

http://www.f7.ems.okayama-u.ac.jp/~bsj99/